

# ひめまつ

70



宇都宮短期大学附属高等学校生徒会

ひめまつ  
**目次**  
第七十号

表紙……君島 蘭 題字……石川 木魚  
校歌  
生活目標

グラフ  
「学園の四季」「写真部作品」

随想

語り継ぐ戦後七十年 —戦争の記憶を風化させないために—  
本校の戦災復興とピアノ物語

理事長 須賀 淳 …… 1

論説

AI（人工知能）と真の学力 …… 校長 須賀 英之 …… 5

特集1

新しい体育館が誕生します！ ……  
第三体育館、夏の完成目指す／図書館もリニューアル …… 8

特集2

学校を超えた宇短附生の活躍！ ……  
日光社参ウォーク／「U字工事のふれあいマーケット2」の収録が本校で行われました！  
「雷様剣士ダイジ」に本校サッカー部が出演しました！ …… 9

特集3

各科在校生、それぞれの甲子園 ……  
「フアッション甲子園」でキラリ賞を受賞／「映画甲子園」五部門で入賞 …… 10

特集4

部活動の活躍！

男女ソフトテニス部／写真部／プラスバンド部／スポーツチャンバラ部／演劇部

特集5

パティシエ部活動報告！

声 須賀学園

2016

宇短附の魅力と図書館編

宇短附の図書館は楽しみの場所

本と親しもう

励ましあえる学習スペース

豊富な本の種類

魅力多い空間

理想の図書館の追求

一年 八組

大橋

萌

一年 十九組

北上

百花

二年 四組

佐藤

伊織

三年 一組

小池

真由子

三年 十一組

日向野

栞

三年二十一組

田中

悠子

平成二十七年 校内読書感想文コンクール入賞者

心に強く響くもの

校内読書感想文コンクール入賞作品

【第三学年の部】校長賞

第一位 三浦 しをん 著「舟を編む」を読んで

三年 一組

神尾

ひかり

第二位 茂市 久美子 著「ゆうすげ村の小さな旅館」を読んで

三年 三組

杉田

知里

第三位 米澤 穂信 著「ボトルネック」を読んで

三年 一組

佐藤

奈々子

【第二学年の部】校長賞

- 第一位 有村 千裕著「あつこと僕らが生きた夏」を読んで
- 第二位 伊藤 計劃著「ハーモニー」を読んで
- 第三位 有村 千裕著「あつこと僕らが生きた夏」を読んで

二年 八組 西山 菜々  
 二年 一組 蓬田 千尋  
 二年 十七組 市田 実奈

【第一学年の部】校長賞

- 第一位 宮本 延春著「オールの落ちこぼれ、教師になる」を読んで
- 第二位 川口 雅幸著「虹色ほたるく永遠の夏休み」を読んで
- 第三位 佐久本 庸介著「青春ロボット」を読んで

一年 三組 高橋 和夫  
 一年 十二組 寄川 愛美  
 一年 一組 八幡 絵織

各種コンクール入賞作品

【心の輪を広げる体験作文】

- 高校生部門 優秀賞 「支え合い」の関係

一年 三組 高橋 知大

【どちの環県民会議「エコボエム」】

- 大賞 地球は貯金箱
- 優秀賞 「地球くん」

三年 三組 山根 望  
 三年 四組 森川 脩哉

【国税庁「税に関する高校生の作文」】

- 宇都宮税務署長賞

三年 二組 蓬田 陽介

【税の百人一首】宇都宮税務署

- 宇都宮税務署長賞

三年 四組 太田 剛史

あとらんだむ 生徒作品集

【一年間の反省と二年生になる抱負】

【二年間の反省と最上級生になる抱負】

旧・一年	三組	小澤	真理奈
旧・一年	十三組	地神	悠稀
旧・一年	十九組	大原	奈々
旧・二年	十組	神山	杏奈
旧・二年	二十組	佐藤	一馬
旧・二年	二十三組	上野	遥佳

旅行記

【第一回 京都研修旅行】

|| 世界に誇る和の伝統文化体験学習 ||

【修学旅行】

ひめゆりの乙女たちに思いを馳せて

笑顔と優しい心

【一日旅行】

発見の一日旅行

一日旅行で得たもの

意志

早稲田大学見学で学んだこと

お台場の友情

一日旅行を通して

友情深まるお台場

クラスの仲が深まった一日旅行

世界観の違う音楽科

わがホームルームの紹介

三年・二年・一年

二年	二十三組	松田	英樹
二年	二組	植竹	里菜
二年	八組	西山	菜々
一年	四組	辻森	美帆
一年	十八組	福田	有里
二年	七組	本永	沙羅
二年	九組	和田	瑛人
二年	十二組	川田	健太郎
二年	十七組	牧野	有沙
二年	二十組	田中	優太
二年	二十四組	松本	香音
二年	二十五組	石橋	佳子

委員会・部活動報告

風紀交通安全・図書・美化・茶道・華道・書道・理科・服飾手芸・囲碁将棋・弓道・演劇・写真・吹奏楽・合唱・硬式野球・女子サッカー・男子サッカー・卓球・水泳・女子バレー・男子バレー・硬式テニス・男子ソフトテニス・女子ソフトテニス・バドミントン・男子バスケット・女子バスケット・柔道・剣道・スポーツチャンバラ・応援団・チアダンス・JRC・インターアクトクラブ・百人一首・デイベート・パティシエ

附属中コーナー

この一年間のおもな活躍・クラス紹介・行事紹介・作品集コンクール入賞作品・写真で見る中学校生活・部活動紹介・立志式記念講演

宇都宮共和国大学・宇都宮短期大学コーナー

宇都宮共和国大学／シテイライフ学部 子ども生活学部  
イベント・トピックス・卒業生メッセージ・就学支援・スカラシップ・就職・進学指導  
宇都宮短期大学／音楽科・人間福祉学科

教育実習生、母校の教壇に

理科 宇都宮大学大学院 佐藤 翔太  
国語 法政大学 武田 仁美  
音楽 宇都宮短期大学 川口 真由

平成二十七年 度 生徒会報告

主な大学合格者数一覧(過去五年間) 主な就職内定状況(平成二十七年 度)

編集後記

編集委員長・中村 瑞歩

校史と校章



新入生～高校生活のはじまり～

# 学園の四季



入学式  
4月

誓いの言葉～期待に胸が膨らみます～



男子サッカー



女子バスケットボール

## スポーツ フェスティバル 6月



女子バレーボール



卓球

## 合唱 コンクール 7月



美しいハーモニー



創立  
115周年記念  
学校祭  
11月

テーマ 新たな扉を開くとき ~Fly away~

須賀学園創立115周年を記念した中学・高校合同の学校祭が11月7日に大勢のお客様をお迎えし、本学園教育会館と須賀栄子記念講堂大ホールにて盛大に行われました。

各科・各クラス・各部ごとに日頃の勉強や練習の成果を披露するとともに、絆を深める1日となったようです。



ブラスバンドの演奏  
(須賀栄子記念講堂大ホール)



野外ステージ



調理科



音楽科によるオペレッタ上演  
(須賀栄子記念講堂大ホール)



演劇部(須賀栄子記念講堂大ホール)



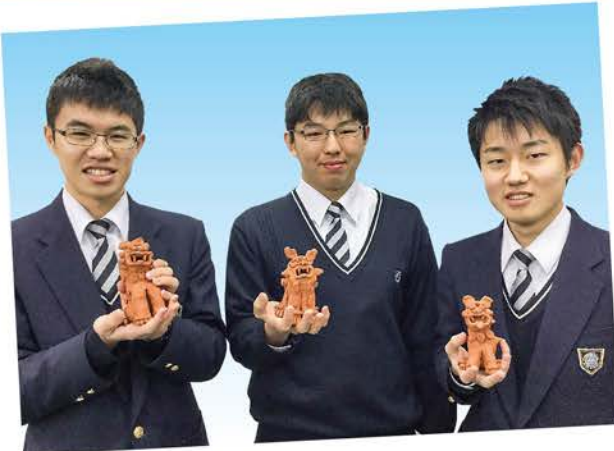




# 修学旅行 in 沖縄

11月

本格的な冬を前に、2年生は修学旅行に出発。現地では、11月とは思えない温暖な気候の中で、さまざまな体験を通して、友情を深めてきました。





入選「甘えん坊」

2年15組 松岡 匠



特選「止まった時の生の盛り」

3年1組 小池 真由子



特選「小さなヴァイオリニスト」

1年13組 高瀬 美月



佳作「日の入りの時刻は」

2年3組 新倉 睦仁



奨励賞「た、食べられる～！」

3年2組 栗田 優



奨励賞「想いを馳せて」

3年1組 小池 真由子



佳作「花火～龍～」

2年15組 松岡 匠



佳作「夢への扉」

2年1組 永井 ゆりの



奨励賞「ジャンプ！」

2年1組 西田 美奈



奨励賞「はくの恋人」

1年8組 倉成 直佳



奨励賞「UP TO YOU！」

1年8組 倉成 直佳

第三十七回栃木県高等学校文化祭で  
学校賞を受賞した写真部の入選作品です。

＊写真部作品＊

## 随想

# 語り継ぐ戦後七十年

—戦争の記憶を風化させないために—

## 本校の戦災復興とピアノ物語

理事長

須賀

淳



### 戦災記念の銅像台座

戦後七十年の節目の年が過ぎ、七十一年目の新しい年を迎えました。この戦後七十年の間に日本はどのような変遷をたどってきたのか、私は「戦後七十年」の歴史を振り返り、太平洋戦争によって全焼した本校の戦災復興について語り継い



須賀栄子先生の銅像台座(平22.11.3 現校地に移設)

でゆきたいと思います。本校の正門を入ると本館の前庭に立派な御影石の銅像台座が目に入ります。本校の校歌にも歌われています。姫松小松の植え込みのなかに建っているこの戦災記念のモニュメントは、本学園が創立百十周年のときに、松が峰の旧校地から移設した創立者須賀栄子先生の銅像の台座です。私が

記した説明の碑がその台座の脇に立られています。戦時中の貴金属供出令により銅像が国に献納されて本体がなくなつたあと、戦火を受けて、その傷跡も生々しい台座が残されたのです。

本稿は、昭和二十年（一九四五）七月十二日の宇都宮大空襲によって本校の校舎が全焼し、私の父である第二代の理事長・校長の須賀友正先生が、全力を傾けて本校の戦災復興に当つたその一端の物語りです

## 須賀友正先生と音楽

須賀友正先生は、現在の東京工大の機械科を卒業し、大正十二年（一九二三）に創立されて間もない県立宇都宮工業学校に物理、数学の教員として赴任しました。当時は、どの県立学校にもピアノはなく、また音楽専門の教員もいませんでした。そのため、先生は音楽が好きでピアノも弾けたので、宇工の式典などでは君が代の伴奏を担当し、また宇工の校歌も作曲しています。

私は昭和十二年（一九三七）四月に宇都宮中学（現宇高）に入学しましたが、音楽の授業は国語の老先生や市内の小学校の先生が担当し、古びたオルガンの伴奏で唱歌などを歌わされたものです。本校には昭和のはじめからピアノがあり、音楽学校を出た専門の先生が音楽の授業を担当していました。ただ、現在のような講堂はなかったので、式典や文化祭のときなどには、真中の仕切りをとりはずし、二つの大教室を合

わせて講堂に模様替えする建築様式になっていました。当時私が出た宇都宮西小学校にも三つの普通教室を打ち抜いて細長い講堂にする校舎がありました。

## 新講堂の建築と戦災

このような当時の状況のなかで、何とか立派な講堂がほしいということが全校生徒の念願でした。このため、学校では資金を積み立てて、昭和十六年（一九四一）の暮れに、やつと新講堂の起工式を行なうことになりました。その準備の真最中の十二月八日に、真珠湾攻撃による太平洋戦争が始つたのです。戦争になると建築資材の入手も困難になることが予想されたので、新講堂建築の中止が危惧されました。しかし



戦災で焼失した第1代講堂（松が峰校地 昭17.11.3完成）

校長先生の決断により、講堂は予定どおり建築することとなり、翌年十一月に無事竣工したので、因みに当時私が通っていた宇都宮中学（現宇高）も本校と時を同じくして新しい講堂を建てることとなり、昭和十六年（一九四一）の秋に起工式が行われ、私も最高学年の生徒として式に参列しました。こちらも翌年無事に完成しましたが、私

は三月に卒業したため、この新しい講堂に入ることはありませんでした。宇高のこの講堂は戦中戦後の七十余年、戦火も受けずに健在で、昔のままの姿で栃木街道沿いの杉林のなかに建っており、現在も使用されています。

ところで、本校の新しい講堂は立派に出来ましたが、戦争はますます激しくなり、終戦直前の空襲によって、この講堂は全校舎とともに全焼してしまいました。わずか二年八か月の短い命でした。その講堂正面入口に掲げられた金属の大校章を、友正先生は焼け落ちた瓦礫のなかから発掘し、黒焦げになった表面を磨いて保存しました。この大校章は本館一階の理事長室に飾ってありますので、ぜひ見てください。

### 戦後のピアノ入手困難の苦勞

焼失した講堂には、当時としては高価なグランドピアノが置かれ、音楽の授業はこの講堂で行われていました。しかしこのピアノも講堂とともに焼失してしまいました。戦後間もなく本校が旧兵舎跡の現校地に移転すると、早速音楽の授業にピアノが必要となりました。しかし当時は日本全体が戦争のためにすべてのモノが不足しており、ましてやピアノのような贅沢品の入手は全く不可能でした。そのため、本校の音楽の先生の自宅が戦災を免れ、ご自分が使っていたピアノが無事だったので、それを学校に持ってきて、音楽の授業を再開しました。しかしお若いその女性の先生が結婚のため退職されることとなったので、またまた困ったことになりました。



現校地に再建された第2代講堂(昭29.2.11完成)

そのとき宇都宮市内の旧家にピアノがあることを知り、懇願して学校に譲ってもらおうことになりました。しかし当時はカネよりモノの時代でしたので、このピアノもお金だけでは譲っていただけず、父の所有する土地をお金に付けて、やっと学校に譲ってもらうことができました。その土地には現在、東武宇都宮百貨店のパーキングビルが建っています。

### めざましい本校の戦災復興とピアノ

昭和二十九年(一九五四)に本校創立四十周年を記念して新しい第二代の講堂が建てられ、グランドピアノも入れられました。戦後日本の音楽教育の発展は目覚ましく、本学園には昭和三十九年(一九六四)に高校音楽科が、ついで昭和四十二年(一九六七)に短大音楽科が新設され、以来五十年を閲し、音楽科以外の各科の音楽活動もますます盛んになっております。現在本学園には、高校に四十五台(グランドピアノ二十一台、アップライトピアノ二十四台)、短大に四十九台(グランドピアノ三十三台、アップライトピアノ十六台)、



第3代の須賀栄子記念講堂(昭62.9.9完成)

合計、九十四台のピアノが入っていることは皆さん御承知のとおりです。

本学園では、宇短大に昭和五十九年（一九八四）須賀友正記念ホールが、高校には昭和六十二年（一九八七）創立九十周年記念として須賀栄子記念講堂大ホールが建てられました。音響設計をNHK放送研究所に依頼した音響効果のすばらしいこの二つのホー

ルには、世界で最高級のピアノを入れることとしました。短大にはスタインウェイピアノ、高校にはベーゼンドルファーピアノが入り、さらに両ホールに日本のヤマハとカワイの最高級のコンサートグランドピアノも入れて、両ホールのステージには二台づつのピアノが置かれました。現在、高校のホールはステージが生徒の活動にとつて狭くなったため、ベーゼンドルファーの一台を残して、ヤマハの方は短大の演奏室に移しています。

須賀友正先生が戦前自宅で弾いていたピアノは、左右両脇に燭台のついた古典的なアップライトピアノでしたが、自宅とともに戦災で焼失してしまったのは残念なことでした。先生は戦後も自宅に古いアップライトピアノを入れて愛用していました。このピアノは、明治三十三年（一九〇〇）に日本



宇都宮短期大学須賀友正記念ホール(昭59.9.9完成)



高校・短大・卒業生による大演奏会(県総合文化センター)

で初めてピアノを製造し始めたヤマハが、旧社名の日本楽器製造株式会社といった時代に製作したもので、鍵盤には現在のピアノのようなプラスチックではなく、本物の象牙が張られており、長い年月の使用によってその鍵盤がアメ色に変色していた逸品です。鍵盤の正面には日本楽器の旧社名が金箔のドイツ文字で堂々と入っています。現在、友正先生遺愛のこのピアノはきれいに修復されて、本校の教育会館二階の校史室に展示してあります。毎年の学校祭の折りには校史室が開放されますので、生徒の皆さんには、創立百十六年の本校の永い歴史と伝統を知っていただくために、この校史室もぜひ見学していただきたいものです。

## 論説

# AI（人工知能）と真の学力



### 消えてなくなる職業

一昨年の秋に発表された、将来消えてなくなる職業のリストが、大きな反響を呼びました。これは、英国オックスフォード大学のマイケル・オズボーン准教授の論文、「雇用の未来—コンピュータ化によって仕事は失われるか」によるものです。現在ある702の職業について、コンピュータ化の難易度を分析した結果、米国の雇用の47パーセントにあ

校長 須賀英之

たる人々が、約20年後に仕事が自動化され、職を失うとのことです。

コンピュータに取って代わられる確率が、90パーセント以上という37の職業を見ると、電話オペレーター、データ入力作業員、映写技師など直ぐに納得できるものから、スポーツの審判、レストランの案内係、ネイリストなど、本当に必要ななくなるの？と疑問を抱くものまであります。ぜひ皆さんもインターネットなどで調べて、自分の目指す職業がそのリストに載っていないかどうか、確認してみたいかがでしようか。

### 東口ボクんの挑戦

オズボーン先生は、AI（人工知能）の研究者ですが、日

本でも5年前から大規模な人工知能に関する研究が進んでいます。国立情報学研究所の数学者、新井紀子教授による「ロボットは東大に入れるか」というプロジェクトです。コンピュータ（東ロボくん）に教科書や過去問などを学習させて、2021年度までに東大合格を目指しています。

昨年の東ロボくんの大学入試センター試験（ベネッセ進研総合学力マーク模試）の結果は、5教科8科目合計点が511点と、前年に比べ100点以上も向上しています。偏差値も全国平均を上回る57・8であり、東大の合格レベルには及びませんが、全国の大学の6割にあたる474大学1094の学部で合格ラインに達しました。二次試験を想定した駿台予備校の東大入試実戦模試（論述式）でも、数学（文系）の偏差値は59・2、地理歴史は54・1と好成績です。

今後の課題は国語、英語、物理の得点向上で、予備校の評価には、「要求された視点を読み取れない、知識を詰め込んだだけの受験生が書く答案」など厳しい指摘もありました。ちよつとホットしましたが、自分自身に思い当たる人はいないでしょうか。

## 説得力、交渉力、芸術的な能力

このように、近年の人工知能の進化には目覚ましいものがあります。グーグルの自動走行車、アマゾンのドローンによ



新井紀子先生と著書「ロボットは東大に入れるか」



る配達サービスなど実用化の実験が進んでいますし、乗用車の自動ブレーキ、電子カルテを使った自動診断、コールセンターの自動応答、機関投資家の自動株式売買など、すでに実用化しているものも多くあります。

一方、人工知能が不得意な分野は、私たちが日常使っている言葉（読み、書き、会話）にあります。

先ほどの東ロボくんも、問題文をコンピュータが解読できるように人が書き直して回答させています。ましてや、時代や地域を超えて、人の気持ちを理解する力や想像力については全く不得意です。スマートフォンの質問応答システム Siri では、複雑な会話はできません。

学術的には自然言語処理といいますが、言葉にはそれぞれ文化的な背景、思考過程、常識などがこめられているからです。人間のコミュニケーションは、そうした複雑な要素が共有されているからこそ、スムーズな意思疎通ができるのだと思います。

オズボーン先生は、コンピュータに取って代わることができない職業を、説得力、交渉力、芸術的な能力、手先の器用さなどを尺度に、評価をしているのです。

ですから、人間の仕事の大半がコンピュータになってしまふと心配することはありません。要は、人間にしかできないことに集中することです。機械にできることは機械に任せれば、その分、コストが下がり、全く新しい仕事を起業するチャンスが増える、と前向きに考えてよいのです。



グーグル自動運転車



## 思考力、判断力、表現力

教育の世界も、人工知能の進化と無縁ではありません。昨年1月に文部科学省は、中央教育審議会の答申に基づいて、「高大接続改革実行プラン」を発表しました。高校・大学の教育内容、大学入試の形態を、新しい時代のニーズに合わせて一体的に改革を行うというもので、現在、具体策とスケジュールの策定が進んでいます。その中には、学習指導要領の改訂、大学入試センター試験から新テストへの移行も含まれています。

備えるべき「真の学力」として、知識・技能に加え、それらを活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果を表現するための力や、思考力・判断力・表現力、主体性をもって多様な人々と協働する態度などが挙げられています。この改革を先取りして、今年の大学入試には、これらの力を測る問題が増えています。こうした考え方には、本校の教育理念と通じるところがあると私は思っています。

## 今に生きる全人教育の理念

本校の創立者須賀栄子先生は、今でいう「全人教育（人間形成の教育）」を建学の精神とされました。教科の学習はもちろん大切ですが、それにもまして重要なことは、まず人間をつくること、さらに生活に役立つ技術・技能を身につけることも目指しました。

27歳で学校を創立して、62歳で亡くなるまで生涯独身を貫き、寄宿舎で生徒と生活を共にしつつ、学習指導と生活指導を徹底されました。女子に教育は不要だとされた明治時代の



本校創立者 須賀栄子先生

生がiPadを使って、アクティブ・ラーニング（ディスカッションやグループワークなどを取り入れた能動的学修）の授業方法を研究しています。

オズボーン先生は、「人間は、より高次元でクリエイティブなことに集中できるようになる。人間がこうした新しいスキルや知性を磨くことになれば、これまで以上に輝かしい時代を切り開いていける。」と述べています。

生徒の皆さんには、30年後の社会や世界を見通して、持つて生まれた優れた個性・能力・特質を生かして、自分にしかできない仕事をライフワークにしてほしい、と心から願っています。



ipadを使った授業研究



大正時代の本校の礼法指導

封建的な風潮の中で、こうした人間を磨いていく教育を実践されたのです。まさに、真の学力の養成に他なりません。

もちろん、その教育方法は日進月歩です。本校では、昨年の夏から全先

新しい体育館が誕生します！



第三体育館、夏の完成目指す

一昨年、第二グラウンドが人工芝サッカー場に生まれ変わった本校。この二月から、新たに第三体育館の建設を開始しました。

設置場所は本校第一・第二体育館北側、栃木街道沿いの一三〇〇㎡の敷地です。バドミントンコート二面、柔道場、ダンスルームの他、ロッカールームも完備。高さも約一〇メートルあり、バドミントンやダンスの練習も専用施設でしっかりできます。

完成予定は今年八月。各運動部のますますの活躍が期待されます。



図書館もリニューアル

本館一階の図書館も全面レイアウト替えしました。明るく開放的になった図書館は、学習スペースも充実。利用者も増えていきます。新書や文庫を中心に蔵書も充実して、『Newton』『National Geographic』などの雑誌も開架に。皆さんも、手に取って読んでみてください。新しい世界が広がるはずです。



# 特集 2

## 学校を超えた宇短附生の活躍!

### ●日光社参ウオーク

日光東照宮徳川家康公奉祀四〇〇年にあたる昨年、家康公命日に將軍家が東照宮に参拝した「社参」が、下野新聞社主催の「日光社参ウオーク」としてよみがえりました。この開催に合わせ、本校調理科生徒が「うつのみや江戸御膳」を開発。これは、八代將軍吉宗公が社参にあたって宇都宮城に宿泊した折の記録をもとに、地元食材で当時の献立を再現したものです。

六月には本校家庭科特別教室で試食会が行われ、東照宮権宮司をはじめ、食材を提供していただいた「青源味噌(味噌)」、「魚登久」(鰻)、「湯沢屋」(酒饅頭)などの老舗店主、下野新聞社の方々が来校くださり、御膳を堪能。八月には宇都宮市長をお招きし、「うつのみや江戸御膳」ランチでトーク」が実現しました。

その後、フタバ食品株式会社のご協力を得て、これをさらに「吉宗公饗當」として開発。多くの方々にご賞味いただき、栃木の魅力を発信しました。

### ●「U字工事のふれあいマーケット2」の収録が本校で行われました!

調理科、生活養科、普通科応用文理コース、パティシエ部からの選りすぐり5チームとU字工事による「栃木県産の美味しいお米と畜産物」を使用した「とちむすび(おむすび)コンテスト」が本校で開催され、「とちむすびの農畜産物」を首都圏に向けてアピールしました。



**TV  
収録**

### ●「雷様剣士ダイジ」

創部十一年目を迎え、関東高校女子サッカー大会初出場を果たした女子サッカー部の総勢二十七名が栃木テレビ人気番組「雷様剣士ダイジ」に出演し、元気でパワフルなサッカーシーンを見せてくれました。

その後、彼女たちは県の新人大会で優勝。今後の活躍も楽しみです。

**TV  
収録**



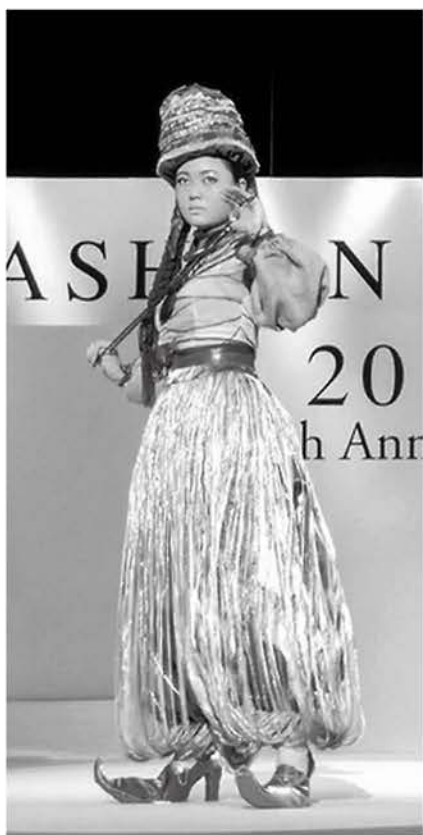
# 特集 3

## 各 科 在 校 生 、 そ れ ぞ れ の 甲 子 園

今年度、宇短附生は二つの「甲子園」に出場。それぞれで活躍した在校生を紹介します。

### ●「ファッション甲子園」でキラリ賞を受賞

まずは、生活教養科三年、木村弥々さんと佐藤由貴さんです。二人は、八月に青森県で行われた「第十五回全国ファッションデザイン選手権大会」、通称「ファッション甲子園」に参加。参加校の教員から最も支持を得た作品に与えられる「キラリ賞」を受賞しました。二人のテーマは「mongolian」。書類審査で栃木県代表に選出されたデザイン画を元に衣裳を作成し、審査に臨みました。モデルも自分たちです。緊張の中、堂々たるポーズがとれました。来年は後輩たちが、全国制覇を目指します。



### ●「映画甲子園」五部門で入賞

次は、映画甲子園主催「高校生のためのeiga world cup 2015」において、自由部門優秀撮影賞に選ばれた福井優太君、優秀助演男優賞に選ばれた飯島洋輔君です。彼らが製作・出演したのは、二人の青年が時空を超えた大犯罪に挑む、「運命人」というアクションエンターテインメント。この作品は、同大会で、教育奨励賞、優秀編集賞、優秀音楽賞も受賞しています。



# 特集 4

## 部活動の活躍!

### 男女ソフトテニス部



本校の部活を代表するのがこのソフトテニス部です。昨年六月に群馬県で開催された関東大会でも男子は団体・個人ともに優勝、女子も第五位と



健闘。男子はインターハイに六年連続十二度目の出場を果たしました。

今年一月に行われた関東高校選抜ソフトテニス大会でも男子団体が優勝。写真は優勝旗を持つ主将の車田英紀君です。車田君は黒羽中出身の二年生。特進コースに在学し、文武両道をかえています。仲良く楽しく、本気になれる後輩を募集中です。

### 写真部

#### ●写真部が初優勝!!

第三十七回県高校総合文化祭写真展の審査が、県総合文化センターで開かれ、その結果、本校写真部（顧問 辰巳隆一先生）が、創部初の学校賞優勝を飾ることができました。入賞作品はグラフのコーナー及び裏表紙で紹介しています。



## ブラスバンド部



●栃木県大学アンサンブルコンテストで  
金賞受賞（2団体・東関東大会出場）  
第八回栃木県県央地区アンサンブルコンテ  
ストにおいてクラリネット四重奏・木管四重  
奏・木管三重奏の三部門で本校ブラスバンド  
部の生徒が見事、金賞を受賞しました。  
続く東関東大会でも銅賞を受賞。素晴らし  
いハーモニーで聴衆を魅了しました。

## スポーツチャンバラ部



●全日本選手権大会優勝！  
三年生 野澤大喜さん（横川中出身）  
横浜市で行われた、第四十一回全日本選手  
権大会に出場し約七〇〇名のエントリーの中、  
「有段両手長剣」の部門で見事、優勝しまし  
た。続く世界大会では団体で準優勝。世界  
チャンピオンの座奪回に向けてさらに頑張り  
ます。

## 演劇部



●「こちぎの高校生人権劇場」にて  
演劇部が最優秀賞  
県教育委員会主催の人権をテーマにした演  
劇発表会で、演劇部が最優秀賞を受賞しまし  
た。亭主関白の夫が帰宅すると自宅が裁判所  
になっていて、架空の罪で裁かれるというス  
トーリーの「ただいま」は生徒創作のオリジ  
ナルで、審査員からもユニークな着眼点と、  
演劇としての総合的に優れていると絶賛され  
ました。

パティシエ部は、満を持して今年新設されました。お菓子を食べることが好きな人、お菓子を作ることが好きな人ならだれでも入れる楽しいクラブです。まだまだ手さぐりでの活動ですが、普通科・生活教養科・調理科から六十余名が入部しました。本校調理科を卒業したプロのパティシエの先生方にご指導をいただきながら、お菓子の製造・販売や校内外のイベントに参加したり、時には自分のためのお菓子を作って、幸せを感じたりしています。

私は、本校調理科入学当初から将来パティシエとして働きたいと考えていましたので、パティシエ部ができたと聞いたときには、迷わず入部届を提出しました。部活動において、授業で学んだことをさらに深く追求できたことは、私の高校生活をより楽しく意義深いものにしてくれました。本校卒業後は、「AU GRENIER D'OR」に就職内定をいただいています。世界の西原金蔵氏のもとでパティシエとして腕を磨き、将来は自分のお店を開きたいと考えています。これからも、たくさんの後輩た



彩音祭で販売

ちが新しいことにどんどん挑戦して技術を磨き、パティシエ部の活動がますます盛り上がるよう、応援しています。

部長 調理科三年 高倉小雪

二十七年度の主な活動・イベント

- 県博デー(四月・十二月)
- 県庁の愛ふれあい直売所(六月・十二月)
- MCFコンサート(八月)
- 宇短大音楽科邦楽専攻コース開設記念
- 「巴里のエスプリ+和モダン」(八月)
- エコもりフェア2015(十月)
- 日光社参ウォーク(有楽町)(十月)
- 日光社参ウォークおもてなし隊(十二月)
- 彩音祭(十二月)
- 親子でクリスマスケーキ講習会(十二月)
- パセオ「バレンタインイベント
- Sweetな縁結び神社」(二月)
- MCFキッズコンサート(二月)
- 落合書店宝木店における定期販売



「クリスマスケーキデコ体験」で講師を務める。





## ◆ ◆ 校史と校章 ◆ ◆

須賀学園は、昨年11月3日で創立115周年の記念日を迎えましたが、その5年前には創立110周年を記念して式典や演奏会、学校祭、大学祭が開催され、本学園の教育実践の全容を広く内外に示すことができました。

思えば、本学園は、明治33年(1900年)に須賀栄子先生によって創立されました。栄子先生は、女子に最も喫緊な技芸を教授され、その時代と境遇に順応すべき実践的婦人の養成を本学教育の趣旨となし、共和裁縫教習所から明治34年共和裁縫女学校、大正13年宇都宮須賀女学校、昭和7年宇都宮女子高等職業学校と校名を改め、学校を発展させてゆかれました。その後を第2代校長の須賀友正先生が受け継がれ、昭和21年須賀高等女学校、同23年学制改革により宇都宮須賀高等学校と校名変更をし、さらに同42年宇都宮短期大学(音楽科)を新設し、現在の宇都宮短期大学附属高等学校となりました。

その友正先生の後を引き継がれたのが、第3代校長の須賀淳先生(須賀学園理事長)です。先生は、昭和58年宇都宮短期大学附属中学校(中・高6か年一貫教育)を併設され、宇都宮共和大学の開学、宇都宮短期大学の学科増設、須賀学園教育会館および第2グラウンドの新設と、学園を大きく発展されました。

そして、現在、昨年4月に第4代校長に就任なさった須賀英之先生のもと、図書館がリニューアルし、第3体育館が新設されようとしています。

本校の生活目標である「一人は一校を代表する」という言葉(本誌の巻頭を参照)の意味は、本校生徒の一人一人が、それぞれに自らの価値を知り、その価値を自覚して生活することこそ人間の大きな喜びにつながり、幸福への第一歩にもなるというものです。ここには、創立者須賀栄子先生が掲げられた「全人教育」の精神が、100余年かわらずに脈々と生きついています。

また、現在に至るまで、本校にはいくつかの校章がありましたが、現在の校章は、カタカナの「ス」の文字を3個組み合わせる図案化した須賀家の合印で、その中央に「高」の文字が挿入されています。(合印とは、昔戦場で敵味方が入り乱れて戦うとき、その背に負って、敵か味方かが見分けられるようにしたものです。)これは、須賀家の家系譜からデザインして第2代校長の須賀友正先生が校章と定められたもので、文字は金色、生地は純白色ですっきりとしており、いかにも清潔な感じのする校章です。現校旗と同じ、昭和34年11月3日に、創立60周年記念事業の一環として制定されました。



高文祭写真展 **準特選**



あなたに届け!  
3年2組 川島 萌